

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会小委員会の設置について

分科会等名：ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	総合工学委員会
2	委員の構成	25名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	近年、理系文系を問わず、研究対象となるデータがデジタル化しており、しかも、その記述内容は複雑化・大規模化しつつある。この、理系と文系に共通した現状は、計算機を中核とした文理融合研究を大きく進展させる好機である。同時に、その進展は、文理のあらゆる研究が計算機を用いて行う現代において必須のものと言える。そこで本小委員会では、理系／文系に関わらず、複雑かつ大規模なデジタルデータを理解するのに有効かつ必須の「可視化」を中核とした、新しいタイプの文理融合研究のあり方を模索し、提言をまとめる。とくに、総合工学委員会・科学的知見の創出に資する可視化分科会（第24期）による報告「科学的知見の創出に資する可視化—文理融合研究と新パラダイム策定—」(2020年9月8日)の内容を踏まえ、これをさらに発展させて提言をまとめることに焦点をあてた活動を行なう。
4	審議事項	1. 文化財のデジタルアーカイブデータの新たな可視化に関する研究 2. こころの発達と健康の分野における新たな可視化に関する研究 3. マンガ・アニメを支援する新たな可視化に関する研究に係る審議に関すること
5	設置期間	令和3年1月28日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続